

具体的施策一覧

参考資料 第2回 資料3 R4.10.7開催

基本施策	具体的施策	内容	No.	取り組み	実施状況	数値	分類	発信方法	備考(市の取り組み等)
<p>(1) 情報発信と情報の共有</p> <p>(2) 環境教育、環境学習の充実</p> <p>(3) 協働による取り組みの展開</p>	○広報誌、啓発誌、ホームページ、掲示、イベントなど様々な手法や媒体を活用した情報発信	市民や事業者へ、ごみ処理の現状を広く周知し、ごみの減量やリサイクルに取り組み意識を高める。より多くの人に情報を広げるため、広報誌や啓発誌をはじめホームページ、施設での掲示等様々な媒体を活用するとともに、イベント等においても積極的PRを行う		市				HP・あ～る	HP上にて「ごみ処理量」「家庭ごみ量速報」を掲載。 今までは「あ～る」13月号に「川西市のごみ量報告」を掲載していた。10月決算後に公表のため、3月号に掲載していたが、決算状況が約半年後となり遅すぎるのではという意見があり、現在はHPにて「ごみ処理量」をUPしているため、「あ～る」の掲載は22年3月号をもって終了。
	○ごみ量や収集処理経費を公表するなど、取り組み結果や効果の見える化		1		○		強化	HP	
	○簡単に取り組める減量方法など具体的な取り組み手法の紹介		2		○		強化	HP・あ～る	「水切り」「ふくろ」「ごみ減量DVD」等をHP・「あ～る」で紹介
	○市のごみ減量化施策や助成制度などの周知		3		○		強化	HP・あ～る	「集団回収」「生ごみ処理機(R3末で終了)」をHP・「あ～る」に掲載
	○市民、地域団体、事業所等による取り組みの情報提供		4		×		強化	—	事業所については「減量化計画」の依頼のみ。市民、地域団体の取り組み情報の提供はしていない
	○事業者への減量化・リサイクル手法等の情報提供		5		×		強化	—	事業者へは「減量化計画」の依頼のみで、その後情報提供はしていない
	○市民、地域団体等が実践している取り組みの情報収集	日常生活で気軽に実践できる事例、アイデアや工夫について市民や地域団体等から情報を収集し、誰もが実践できる取り組みを推進する	6		△		強化	HP・あ～る	市民や地域団体から情報収集していない。H28に美化が作成したチラシを自治会・市民宛に配布(HP「スリムちゃんからお願い」)
	○市内事業所の取り組みや店頭回収等の情報収集	事業所の取り組みや販売店での店頭回収品目について情報収集し、広く情報を発信することで取り組みを推進する	7		×		強化	—	事業所の取り組み販売店での店頭回収品目について情報収集していない。また情報発信もしていない
	○国の動きや他自治体の事例など先進的取り組みの情報収集	国の政策や他自治体で実施されている先進的な取り組みについて、情報収集する	8		○		強化	—	HPや阪神間の担当者会議において情報収集を行う
	○ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施	学校や自治会、コミュニティ等に呼び掛け開催回数を増やし、幅広い年齢層に対応したプログラムを工夫する	9		○	有	強化	HP・あ～る 市役所・公民館	HP、「あ～る」に掲載。市役所美化コーナー、公民館にチラシを設置し案内を行う (小学校:ワークショップと一緒に学習会のチラシ配布、幼稚園・保育所:教育を通して案内文書とチラシ配布)
	○小学4年生向け副読本「ごみ減量ワークショップ」の活用促進	国崎CC見学での利用と、ごみ減量やリサイクルへの気付きや取り組みにつながるよう活用を促進	10		○			—	「ごみ減量ワークショップ」の発行(直接小学校に配布) 「指導用手册」もあわせて配布
	○国崎クリーンセンターの見学に伴う出前講座の実施	国崎CCには「ゆめぼた」が併設されており、施設のスタッフによる施設見学が行われている。見学と併せて市の出前講座を実施することでごみ減量、リサイクルに対する意識の向上を促す	11		○		強化	HP・あ～る	HP、「あ～る」(H30.10)で国崎CC見学を合わせた出前講座を案内。また、申込時に国崎CC見学の確認を行っている
	○学校園・保育所等との連携強化	学習会のプログラムやワークショップを作成するなど年代に応じた効果的な環境学習を行う	12		○			HP・あ～る 市役所・公民館	HP、「あ～る」等で案内。子どもを対象としたイベントを行う (学習会、キッズリ・ぼん、食べきりラー、クッキングなど)
	○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	公募による市民が主体的にごみ減量に向けた取り組みを実践していく、参加者が活動終了後において地域等でごみ減量の取り組みを広められるよう内容を充実していく	14		○			HP・あ～る 市役所・公民館	チャレンジ・モニターはH21から実施。R1は活動したが、コロナによりR2.3のイベント(キッズリぼん)は中止。以降未開催
	○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	店舗等における呼びかけなどで周知徹底することで持参率を高め、市民の意識向上を図る。市と協働でキャンペーンを実施していき新しい新たな事業にも協力を呼び掛け、ワークショップ持参・ワークショップ袋運動を展開する	13		○		強化	HP・あ～る	HP、「あ～る」(H23.11)で過去に「ワークショップ持参・ワークショップ袋キャンペーン」の案内あり。 H10～H26まで「ワークショップ持参・ワークショップ」を実施していたが、エコバッグが浸透してきており、H26をもってキャンペーンは終了。 ・R2:「食品ロス削減の促進」と「川西市食べ残しゼロ運動」登録店舗への事業支援、ワークショップ普及の促進」を目的とした企画を実施し「motteCOワークショップキャンペーン」を実施。 ・R3:KOHYOと協働「ワークショップネットワーク」を実施しオリジナルワークショップを配布。
	○地域(コミュニティ、自治会等)との連携	連携を図り、ごみステーションの環境美化、集団回収の周知、出前講座等の開催を推進する	15		○			HP・あ～る 市役所・公民館	HP、「あ～る」等で集団回収・出前講座等案内
	○スリム・リサイクル宣言店など市内事業所との連携	スリム・リサイクル宣言に関する情報を市民に広く周知し、加盟している事業所には、取り組み内容や事例などをフォローし、未加入の事業所に対する加入促進を行う	16		×		強化	—	H30年まで登録店舗の確認していたが、以降は事務を行っていない
	○事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進	現在の計画書の内容を工夫する等、提出事業所を増やし現状の把握に努める。得られた情報の活用にも努める	17		×		強化	—	提出事業所については増やしていない。R4に内容修正した
	○国崎クリーンセンター(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)との連携	処理、処分情報の共有や啓発施設との情報交換など国崎CCとの連携を強化し市民の意識向上や分別レベルの徹底を図る。また、事業系ごみの減量化・資源化を促進する。国崎CCの事業系持込ごみの処理できないごみの混入防止、手数料の検討等について組合、構成市町と連携を図る	18		○		強化	—	構成市町で担当者会議等を開催し、連携を図っている
○近隣自治体との協働と連携	近隣自治体と情報共有し連携しながら施策を推進する。また、災害発生時等緊急事態の際には、周辺自治体と連携して対応する。国等への要望に対しても他の自治体と連携を図る	19		×		継続	—	近隣自治体等と連携していない	

1. 循環型社会の形成に向けた基礎づくり

〇生ごみの減量化の促進	家庭から排出される生ごみは、家庭系ごみの中で最も主要なものひとつであり、計画的な買い物や調理の工夫をすることで、買わずぎ・食べ残しを防ぐことができ、家計節約ややさしい行動である。さらに堆肥化や水切りにより可能な限り減量化をすることで、一層の減量が実現できる	市民・事業者・市	〇		強化	HP・あ～る・市役所・公民館	10月「食品ロス削減月間」のため、市役所市民ロビーにて「啓発展」を実施。R3は「食品ロス削減レジビ」を募集。HP、「あ～る」で啓発。R3年度「食べきり残し」実施
〇エコクッキングの実践		市民・事業者・市	〇		強化	HP・あ～る・市役所・公民館	「夏休み親子バスツアー」を実施 (H27～H28: 国崎CC、H29～R1: 大阪ガス、R2～R3はコロナで中止、R4.7.23実施)
〇生ごみの水切りの促進			〇		強化	HP・あ～る・市役所・公民館	「あ～る(R1.10)」で掲載、出前講座等で啓発
〇生ごみの堆肥化			〇	有	継続	—	生ごみ処理機等購入費助成制度については、R3年度末をもって終了し、今後替わるものを検討
〇容器包装ごみの削減	市民…買い物バスケットを持参し、レジ袋をもらわない、詰め替え可能な商品や簡易包装の商品を選ぶよう心がける。また、壊れたものも修理が可能であれば修理し長く使う。事業者…レジ袋やレジ袋の導入を積極的に検討する	市民・事業者・市	〇		強化	HP・あ～る・出前講座	「レジ袋削減運動」の実施 (マイバックキャンペーン: H15から実施。出前講座・イベントでマイバック配布)
〇マイバック持参・レジ袋の削減			〇		強化	HP・あ～る・出前講座	出前講座等で啓発、「あ～る(H31.3)」で掲載
〇詰め替え品の利用、過剰包装の削減、簡易包装・ばら売りの促進			〇		強化	HP・あ～る・出前講座	
〇よく考えて必要なだけ購入する、不要なものはない、修理をしようなどごみを出さない行動の実践	市民…計画的な買い物を実践し、レジ袋などごみとなる可能性のあるものを極力購入しないよう心がける。また、壊れたものも修理が可能であれば修理し長く使う。事業者…レジ袋の無駄をなくすなどの改善を行い、発生抑制に努める	市民・事業者	〇		継続	HP・イベント	ごみ減量啓発動画で、ごみとなる可能性のあるものを極力購入しないよう啓発。また、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃのお医者さん」をH31.31「キッズリボン」で実施(おもちゃのみ)、大型ごみ説明会時「すぐ捨てて」ではなく、「修理して…」と説明
〇事業系一般廃棄物減量化計画書の提出	市から事業系一般廃棄物減量化計画書の提出依頼があった場合、積極的に計画書の提出に協力する	事業者	〇	有	継続	HP	毎年5月に依頼(R4: 113件送付し53件回答)
〇製造、流通過程における発生抑制	商品の製造、流通過程において、原料調達や輸送時の梱包の無駄をなくすなどの改善を行い、発生抑制に努める	事業者	×		継続	—	特に何もせず
〇マイバック持参など消費者に向けた啓発	販売等を行う事業者については、消費者に向けてレジ袋の廃止やマイバック持参を呼びかけるポスターの掲示等レジ袋の利用量削減に向けた取り組みを行う	事業者	×		継続	—	特に何もせず
〇市の行事やイベントにおけるごみ減量への取り組み	市の行事やイベントにおける、ごみ減量化や啓発について関係所管と連携しながら取り組みを進める	市	〇		継続	HP・あ～る	イベント等で依頼があれば積極的に参加しごみ減量の啓発に取り組みている (ハロウィン、子育てフェスティバル、川西病院まつり、川西阪急等)
〇大型ごみの有料導入の推進	ごみの減量目標の達成に向けて、大型ごみの有料制について検討する	市	〇		継続	HP・あ～る・説明会	R28.5から大型ごみ有料化実施
〇ごみの有料化についての調査研究	大型ごみ以外の要領ごみの有料化については、ごみ排出量の推移を慎重に見極めながら、近隣自治体の動向や先進事例等における導入実績や効果の検証を進める	市	〇		継続	—	他市の状況調査
〇市民、事業者への情報発信	ごみの排出量や処理費用等の現状の他、身近なごみ減量化アイデアなどを紹介。また、事業者ごみについては、ごみ分別の解説、紙の資源化促進などごみ削減成功事例の紹介等、情報を発信する。また、市民のごみ減量化への取り組みを支援する事業や制度を実施	市	△		継続	HP・あ～る・動画	「あ～る」で水切りの紹介など掲載。事業者ごみについては「あ～る(R2.3)」で「市で収集できないごみ」の中で事業者ごみについて掲載
〇リターナブルビンの利用等リユースの促進	市民はリターナブル等を積極的に利用するとともに、事業者は、リターナブル等の回収を推進する	市民・事業者	×		継続	—	特に何もせず
〇リターナブルビンやバザー、リユースショップ等の活用	不要になったものを必要な人に譲るフリママーケットやバザー、リユースショップを積極的に活用し、ごみとなるものを減らす	市民	〇	有	継続	HP・あ～る・市役所・公民館・森の泉	市では「キッズリボン」「ふくせいの泉」を開催。リユース情報誌「リボン」(R4.3末で休止)
〇リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」の利用促進	「リ・ぼ・ん」の周知徹底を行うほか、現在のシステムについて見直しを行い改善する等、より多くの市民の利用を促進する	市	〇		継続	HP・あ～る・市役所・公民館	情報提供のあり方を見直したため、R4.3.31をもって一時休止
〇市民、事業者への情報発信	市民に対してはリユースを促進するための具体的な情報(国崎CCや保育園でのバザー開催状況等)を提供する。事業者に対しては国や業界団体におけるリユースシステムに関する動きなどの情報を提供する	市	△		継続	HP・森の泉	国崎発行の「森の泉」でフリーマーケット開催案内。事業者には特に何もせず
〇ごみの分別及び適正排出の徹底	家庭や事業所から出るごみは資源物を分別する。事業所からは排出者責任の原則に基づき、適正排出に努める。市民からの報告でごみステーションに不適正に排出されていることが分かった場合、現地調査、内容確認のうえ、訪問指導などの対応を行う	市民・事業者・市	〇				
〇紙類の分別、資源化の促進			〇	有	強化	HP・あ～る	「あ～る」保存版」で紙の分別説明と、集団回収の啓発。不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ポスター掲示)実施
〇ガラス・プラスチック製容器包装の分別の促進			〇		強化	HP・あ～る	

2. こみの発生抑制と再使用の推進

(1) 発生抑制の推進

(2) 再使用の推進

3 再生利用の推進と循環の輪の形成	(1) 再生利用(リサイクル)の推進	○ペットボトルの分別の促進		40	○		強化	HP・あ～る	「あ～る」保存版」でペット分別説明。不適正排出があれば現地調査、訪問指導(ホステインク)実施	
		○事業者ごみの排出責任の徹底		41	○		強化	HP・あ～る	「あ～る」保存版」で事業者ごみについて説明。事業者ごみの不適正排出があれば現地調査、訪問指導実施	
		○店頭回収の促進	市民・事業者	42	△		継続	HP・あ～る・出前講座	「あ～る(H29.10)」出前講座」で啓発。事業者については特に何もせず	
		○携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力	市民・事業者	43	○		継続	HP	HP(携帯電話のリサイクル)に協力などで啓発 使用済小型家電回収・リネットショップを紹介	
		○集団回収への積極的な参加	市民・市	44	○	有	強化	HP・あ～る・市役所・公民館	HP、「あ～る(H29.10)」で「集団回収」の紹介。市役所、公民館にチラシ常設。	
		○分別ルールの分かりやすい啓発	市	45	○		継続	HP・出前講座	HPでパンフレットの活用案内、出前講座などで啓発 R4から分別方法変更。HP、広報誌(「あ～るかわじ」)で案内	
		○店頭回収など事業所の取組みに関する情報提供	市	46	○		継続	出前講座	店頭回収については出前講座で啓発	
		○希少金属(レアメタル)のリサイクルに向けた、小型家電製品の資源化に関する調査研究	市	47	△		継続	HP・あ～る	H26.10から使用済小型家電回収BOX設置。「あ～るかわじ」(H27.10)で小型家電回収について啓発。効果や課題について調査研究、導入の検討?	
		○ごみ袋の透明・半透明化の調査研究及び導入の検討	市	48	○		継続	HP・あ～る・出前講座	ごみ袋の透明・半透明化についてはH29.2から実施済。	
		2 循環の輪の形成	○リサイクル製品や環境への負荷ができるだけ少ない製品の購入	市民・事業者・市	49	○		継続	出前講座・学習会	グリーン購入に基づく製品を取り入れるようにしているが、市民・事業者へ情報提供していない
○グリーン購入法に基づく製品やサービスの情報提供	市		50	×		継続	—			
○安定的、効率的な分別収集の実施	市		51	○		継続	HP・あ～る・説明会・保存版	市民にはHP「あ～る」等で分別収集を案内し、収集は効率的な分別収集を行っている		
○収集作業の安全性の確保	市		52	○		継続	HP・あ～る・保存版・出前講座	「保存版」、「あ～る(R2.3、R3.3)」、「出前講座」で分別徹底の啓発をしている。「保存版」(H22.2.1版)		
○在宅医療廃棄物の適正排出の周知	市		53	○		継続	HP・保存版	要件に満たない市民でも、直接訪問面談し、必要と認められる場合はサポート収集を実施する		
○市民ニーズに対応した収集サービスの充実	市		54	○		継続	HP・あ～る	市で収集できないものは、HP「こんなごみはどうすればいいの」、「あ～る(R3.3)」ごみの分け方・出し方保存版」に掲載し周知に努めた。また、再生事業者と提携を結ぶなど、適正排出に向けた啓発に努めた		
○適正処理困難物に係る処理	市		55	○		継続	HP・あ～る	国崎COにて適正処理が困難なものは、適正排出の周知徹底を図るとともに、販売店等における引き取りの拡充など拡大大生産者責任を求めたい		
○国崎クリーンセンターとの連携	市		56	○		継続	—	国崎が発行している「緑の泉」で推進		
○国崎クリーンセンター啓発施設 環境学習館「ゆめぼた」での連携	市		57	○		継続	HP・あ～る・チラシ	啓発施設において出前講座の実施。キッズリマンでの「かえっこ」の開催		
○大阪湾フェニックス事業への参画	市		58	○		継続	—	HP、「あ～る」出前講座でごみの減量とリサイクル等について啓発		
○最終処分場の状況について、市民・事業者への情報提供	市	59	○		継続	—	市民説明会、出前講座で説明、決算成果報告書に毎年度の状況を掲載			
4 環境負荷の低減に配慮した収集処理の推進	(1) 安定的、効率的な収集運搬体制の確立	○国崎クリーンセンターでの連携								
		○国崎クリーンセンター啓発施設 環境学習館「ゆめぼた」での連携								
		○大阪湾フェニックス事業への参画								
		○最終処分場の状況について、市民・事業者への情報提供								